

スポーツ・レクリエーション

近年、余暇時間の増大や健康志向の高まりといった社会情勢の変化は、過去の経済優先から、ゆとりある生活を求める社会へと大きく転換しており、日常生活のなかでレクリエーション活動を実践したいという市民要求となって現れています。

これは、生涯を通して誰もが気軽に楽しめる生涯スポーツを求めるものであり、活力ある都市づくりを進めるうえで極めて重要な役割を果たしています。

本市では、「21世紀へ向けての明るく豊かな健康文化都市づくり」を目指し、生涯スポーツを市民生活の一部と位置づけながら、活動への参加や学習の機会が得られるような総合的施策の推進に努めています。

スポーツ施設等の整備拡充

本市には、市民のスポーツ・レクリエーション活動の拠点として、公園機能を備えた浜線健康パーク、南部総合スポーツセンターをはじめ、野球場、庭球場、並びに武道場、体育館など多くのスポーツ施設があります。

なかでも平成5・6年度に、フィールド芝やスタンド等を大幅に改修した水前寺競技場は本市スポーツの殿堂として多くの方々に利用されています。

さらに今後、市民が日常生活の中

で、いつでも気軽に利用できるようなスポーツ施設の整備拡充と効果的利用の促進に努めていきます。

スポーツ活動の振興

市民総参加として定着している市民体育祭などの各種行事をなお一層推進するとともに、ミニバレーボール大会など地域に根ざしたスポーツ・レクリエーション活動の促進や、誰もが気軽に参加できるようなスポーツの普及啓発など、市民総スポーツ運動の推進に努めています。

このほか、競技スポーツの振興を図るとともに、社会体育組織の充実や指導者の育成・確保にも力を注いでいます。



●豊かで明るい・長寿社会の創造

健康文化

HUMAN CITY
KUMAMOTO



ゆとりある勤労者生活を応援します。

本市の雇用福祉対策は、人材の確保・定着、勤労者の技能技術の向上、勤労者の福利厚生の実施を主な事業として、勤労者の皆さんが豊かなライフワークを送ることができる職場づくりのお手伝いをしています。

(人材の確保・定着)

若年労働者の確保・定着を図るた

め、近隣町・商工団体・企業とともに熊本雇用対策協議会を組織する一方、熊本市産業開発求人対策協議会等民間団体とともに人材の確保に努めています。

また、中高年齢者雇用対策としましては、熊本中高年齢労働者福祉センター(サンライフ熊本)や熊本市役所に相談窓口を設置しています。

(技能・技術の向上)

本市産業の発展を担う若年技能者・技術者等の人材育成機関として熊本市職業訓練センター、熊本職業訓練短期大学校、熊本市事業内高等職業訓練校の運営を支援し、また勤労者・未就職者・転職希望者等を対

「熊本市職業訓練センターにおけるパソコン教室」

象にワープロ・パソコン等の各種講座を設けています。

(勤労者福祉の向上)

施設面では、勤労者の健康増進と文化・教養の向上を目的として設置された中央勤労青少年ホーム、北部勤労青少年ホーム、勤労婦人センター、熊本中高年齢労働者福祉センター(サンライフ熊本)、熊本勤労者体育センターがあり有効利用を図っています。

制度面では、熊本市中小企業勤労者福祉共済制度を設け、勤労者のスポーツ大会・団体ツアー等勤労者の福利厚生のために各種の事業を行っています。

中小企業のための

ふれあうきょうさい

熊本市中小企業勤労者福祉共済
あなたの会社の福利厚生を熊本市があと押しします。

この共済に加入されると、わずかな掛金
(1人1月300円)で…従業員の方々に…

福利 自分の時間を積極的に活用して
楽しい思い出を
それぞれの季節…**ツアー旅行**
に安い費用で参加できます
職場対抗…**スポーツ大会**
で汗を流して親睦を
盛りだくさんの…**パーティー**
で心に残る思い出を
今の世の中…**文化教養講座**
を軽い気持ちで
夏には…**海・山の家**が利用できます
いるんな…**割引**があります
いるんな…**補助**もあります

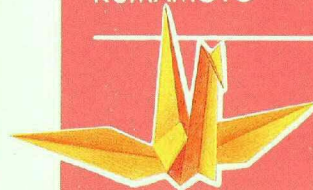
給付 お祝い、
お見舞いとして
満20歳に達したとき…**成人祝金**
結婚したとき…**結婚祝金**
出産したとき…**出産祝金**
子供さんが小学校に入学したとき…**入学祝金**
子供さんが中学校を卒業したとき…**卒業祝金**
結婚式を迎えたとき…**結婚25年祝金**
病気やケガで30日以上欠勤したとき…**傷病見舞金**
共済加入期間が5年を超えたとき…**永年褒賞金**
共済加入期間が10年を超えたとき…**永年褒賞金**
本人が死亡したとき…**死亡弔慰金**
配偶者が死亡したとき…**死亡弔慰金**
親等血族が死亡したとき…**死亡弔慰金**

貸付 不時の出費が
必要なときに

●豊かで明るい・長寿社会の創造

雇用福祉

HUMAN CITY
KUMAMOTO



現在、私たち消費者を取り巻く環境は、国際化、情報化、サービス化、高齢化等、経済社会の変化により、急速に移り変わっています。

これに伴い市場には実に様々なルートで、多種多様な商品（サービス）が出回り、その商品は果たして安全であるか、品質は優れているか、価格は適正であるかなど、その判断がますます難しくなってきました。

このような状況のもとでは、時に消費者の利益が損なわれたり、また、深刻な被害をもたらしたりすることもあります。

我が国では、昭和43年に「消費者保護基本法」が定められ、さらに平成7年7月1日には「製造物責任法」が施行されます。

本市でも、消費者が主体的、合理的な消費生活ができるよう、暮らしに役立つ講座「消費者セミナー」の開催や、地域への出前講座など、消費生活に関する情報提供を行っています。また、消費生活相談や消費者団体の育成など、消費者行政の推進に積極的に取り組んでいます。

平成5年度に消費者センターに寄せられた消費生活相談は、2,560件でした。

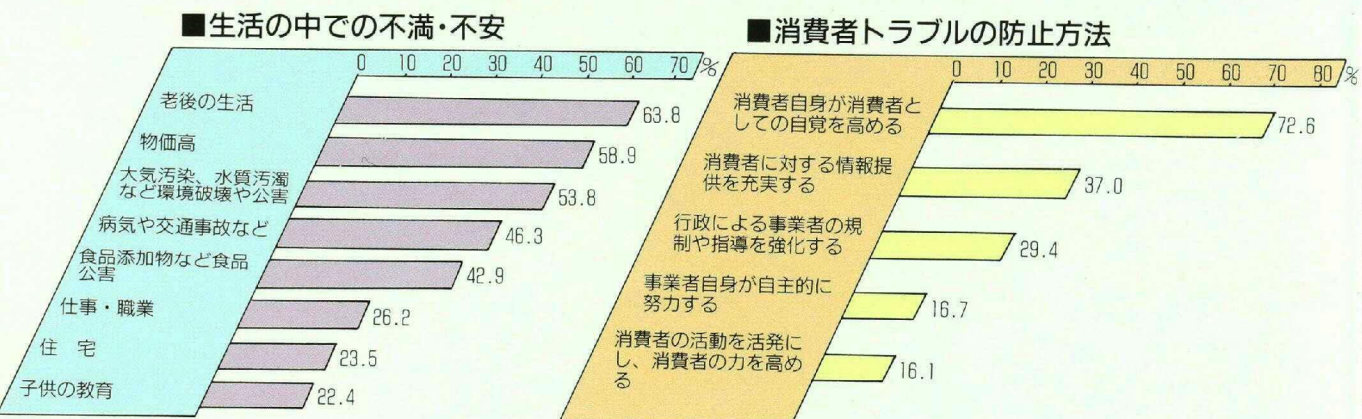
消費生活実態調査報告から

消費者センターでは、平成5年10月に市民の消費生活についての意識

と行動を把握するため、消費生活に関する実態調査を行いました。



「ストップ・ザ・過剰包装」キャンペーン



●豊かで明るい・長寿社会の創造
消費者行政
HUMAN CITY
KUMAMOTO

今、女性たちは、就労、学習、ボランティア活動など様々な形で社会に参画しています。それに伴い「女だから、男だから」といったこれまでの枠にとらわれない生き方が求められています。

21世紀を目前にし、市では男女が社会のあらゆる分野に参画し、平等な立場で個性や能力を発揮しながら支え合う『男女共同参画社会』の実現をめざしています。このため、「くまもと女性プラン」を策定し、あらゆる分野での男女平等を推進するとともに、幅広い分野にわたる女性に関する施策の総合的・計画的な調整を行っています。

また、女性自身の意欲と能力を高めるため、自主グループの登録制度を設置し、女性グループの自主的な活動や交流を支援する一方、女性の地域リーダーの養成や人材活用にも努めています。

さらに「くまもと女性フォーラム」の開催や情報誌「はあもにい」の発行、ビデオ作成などを通して、男女平等や女性問題に関する啓発にも力を入れています。

熊本市総合女性センター

男性も女性も共にいきいきと暮らす、調和のある市民社会の実現を目指して、男女の自立や社会参画のための活動と交流の拠点として、また市民文化振興の拠点施設として平成

2年4月オープン以来83万人（平成7年3月現在）を超える方々にご利用いただいております。センターでは、女性を取り巻く社会問題を解決するために、女性問題啓発事業・自己開発事業・生き方支援事業・情報提供事業・女性の健康づくり事業等をおし、あらゆるライフステージにおける女性の生き方を応援しています。また会館から生まれる文化と人を目指して、地域に根ざしたいろいろな文化振興事業を展開しています。

さらに、ハイビジョン機器に加え、情報資料室において生涯学習システムを導入、地域文化の発信基地としての役割を担っています。



ワーキング・デザイン・セミナー受講風景



“お父さんと料理をつくろう”
—ふれあいフォーラムinあきたより—

●21世紀を担う人づくり
男女共同参画社会
HUMAN CITY
KUMAMOTO

21世紀を的確に展望し、人間味あふれる近代都市をめざす本市は、愛情と信頼に基づく教育の実践を推進しています。学校教育は、「生涯にわたる人間形成の基礎として必要な資質を培うため、豊かな心と確かな学力、たくましい体を育てること」「わが国の文化や伝統についての理解を深めるとともに、国際社会において協調しながら行動できる資質の育成を図ること」をめざします。

○心豊かな人づくりの推進

徳・知・体の調和ある人間形成のため、道徳教育の充実や生徒指導の徹底などの推進を図っています。特に「心豊かな学校生活確立推進事業」では、学校行事や地域の人材や施設を活用した体験活動など学校・家庭・地域が一体となった教育活動を展開します。

また、全教育活動において同和教育の視点に立ち、人権尊重の精神の認識と部落差別をはじめあらゆる差別をなくしていく意欲と実践力を育てます。

○基礎学力の充実と個性の伸長

自ら学ぶ意欲や思考力・表現力・判断力などの育成に個々の創造力や個性との関係で指導援助を行います。

校内研究・教科等授業研究会・学校訪問・教育センター研修・派遣研修等で、T・Tなどの指導法や評価法の工夫改善に取り組み指導力を高

め、さらに指導内容の精選と授業時間の確保にも努めます。

○国際理解教育の推進

国際化が進む中であって次代に生きる日本人として、外国の人々の生活や文化を認め尊重する態度を養い、世界と日本との関わりに関心をもたせます。

国際理解教育実践校での研究開発と共に外国人との交流を行ったり、アメリカ・カナダなどから英語指導助手の先生を招いたりして、楽しく使える英語学習などを展開します。

○環境教育の推進

環境問題に関心をもち、環境保全に参加する態度と環境問題解決のための能力を育成します。

みどりの教育・愛鳥教育・勤労教育を推進し、環境に関わる体験的な学習を推進します。また、PTA・地域との連携のもとりサイクル活動などの推進も図ります。

○健康教育の推進

人生80年時代である今日、生涯にわたり、健康で充実した生活を送る能力を身につけさせることが重要です。

学校体育・エイズ教育などの学校保健・学校安全・学校給食の各分野において互いに連携を図りながら教育の充実を展開します。教育センターでは、不登校など教育相談活動も充実します。

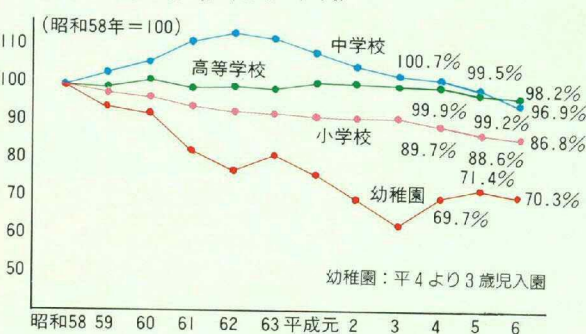


校区をあげて大ホールにて音楽会（帯山中）



アジアの人々と料理を通して交流（西原小）

■在学者の推移（幼・小・中・高）



ゆとりとうるおいのある教育環境づくり

徳・知・体の人間形成には、ゆとりとうるおいのある教育環境が必要です。

市では、より豊かな教育環境づくりを進めるために、校舎の増改築をはじめ、学習指導方法の多様化に対応できる施設の整備、教育の適正化を図るための過大規模校の分離新設、体力向上を図るための体育施設の整備拡充、文化性を取り入れたふれあいの場づくりなど、毎年計画的に質的整備を進めています。

平成6年度は、近見町に「日吉中学校」が、桜木4丁目に「桜木中学校」が開校しました。

新設中学校には、多種多様な学習形態に対応できるよう校舎内に生徒間の交流の場として生徒が自主的に活用できる多目的ホールや情報化時代に即応したコンピュータ教室を設置しました。

外観は重厚感のある設計とし、内部仕上げは木材を多用し、うるおいと暖かみが得られるようにしました。

さらに、近年、問題となっている環境問題に対応して、校舎等の屋根の雨水を集めトイレの洗浄水として再利用する中水道方式を取り入れ、地下水保全に寄与する施設としています。

また、学校の顔である正門及びその周辺付近の整備も実施しており、都市景観と合致した緑豊かな教育環境づくりを進めています。

心身共に健全な児童生徒を育成するために、今後もゆとりとうるおいのある教育環境づくりを推進していきます。



パソコン実習室（日吉中学校）

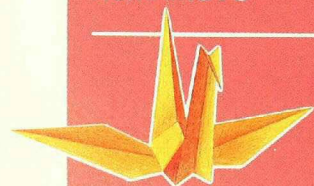


桜木中学校

●21世紀を担う人づくり

学校教育

HUMAN CITY
KUMAMOTO



●21世紀を担う人づくり

学校施設

HUMAN CITY
KUMAMOTO



生涯学習の推進

市民の学習意欲が年々高まる中で、本市では年間約42万人の方々が、公立公民館等において生涯学習に取り組んでいます。また、その他の利用者を含めると約61万人に達します。

本格的な生涯学習社会の到来する中で、社会の変化や市民のニーズに的確に対応する生涯学習の総合的・効果的な推進を図るため、平成4年8月「熊本市生涯教育基本調査委員会」から「熊本市における生涯教育推進方策」について3項目にわたり提言を受けました。

この提言をふまえ、本市が先に策定した21世紀を展望した「基本構想」「基本計画」における生涯教育・学習の諸施策について取り組んでいます。

図書館

図書館は、62万冊余の図書資料の貸出、読書相談のほか、図書展、本の読み聞かせや紙芝居、読書啓発のための郷土史をはじめとする講演会、視聴覚ライブラリーの市民映画の会、子供映画の会等の催しを行っています。

また、図書館は、移動図書館、分館機能を有する9カ所の公民館図書室と共に本市の図書サービスネットワークを形成し、多数の市民に利用されています。

なお、高度化、多様化した市民の読書需要にこたえ、21世紀を展望し

た生涯学習の基幹施設として、更に、旧飽託郡四町との合併による新熊本市に相応した新図書館の建設について、基本計画を策定中です。

公民館

専用施設の中央公民館と各地域に複合施設として、西部、南部、東部、龍田、託麻、幸田、清水、秋津、大江、花園、北部、飽田、五福公民館の合わせて14の公立公民館があり、また北部公民館に北部東、西里の2つの分館があります。

このほか、市民の身近な生涯学習の場である地域公民館（公民館類似施設）が408館あり、それぞれ地域の特色を生かした様々な活動を展開しています。

博物館

熊本城三の丸地区にある博物館は、自然・人文・理工科学関係資料約5,000点を展示し、これに最新のプラネタリウムを併設した県内唯一の総合博物館です。

また、資料収集・調査等を行うと

ともに教育普及活動として「考古学講座」をはじめとする各種学習講座の開設、特別展示会を開催するなど多くの人々に利用されています。

平成5年度は、ファミリーフェスタ'94協賛「ふれあいロボット展」の特別展を開催し好評を得ました。

人権啓発

日本国憲法は、すべての国民に基本的人権の享有を認め、生命・自由及び幸福追求に対する権利を尊重し、さらに法の下に平等であることを保障しています。

しかし、今日なお、部落差別をはじめじめや体罰の事実、女性や障害者及び在日外国人に対する差別の問題など、一日も早く解決しなければならぬ人権問題が存在しています。

なかでも、部落差別は、日本社会

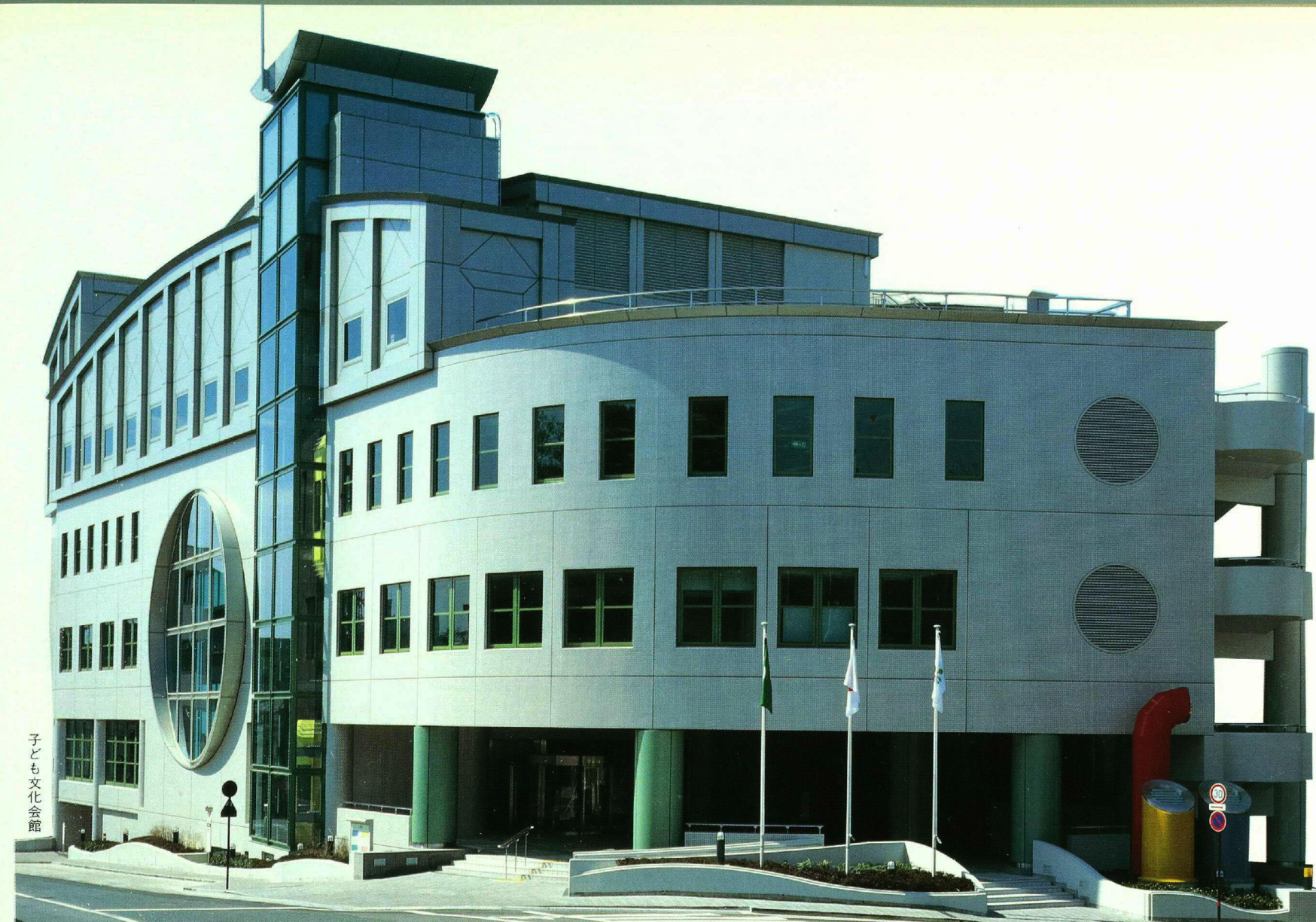
の歴史的発展過程においてつくりだされた不合理な差別であり、同和地区に生まれたというだけで、結婚や就職に際して差別を受けたり、職業が不安定な状態におかれるなど、市民の権利と自由が侵害され、時には生命まで奪われるという深刻な問題であります。

本市では、これらの問題解決は行政の責務であるとの認識のもとに、市民一人一人が同和問題をはじめとするあらゆる差別の本質を明確にとらえ、自分の課題として受けとめられるよう、講演会・研修会の開催、啓発資料の作成、市政だよりの発行等をおして、市民生活のあらゆる場で教育・啓発に力をいれています。



公民館での折り紙教室

子ども文化会館



21世紀を担う青少年が、心身とも

に健やかに育つよう、家庭・地域社会・学校が連携を取りながら、一体となって取り組む必要があります。

●21世紀を担う人づくり

青少年の健全育成

HUMAN CITY
KUMAMOTO



1. 健全育成活動の推進

家庭教育の充実を図るため、青少年健全育成活動の活性化や青少年団体の育成に力を入れ、指導者の充実とリーダーの養成に努めます。放課後に保護を受けられない児童のための児童育成クラブの開設、青少年補導センターやヤングテレホンの充実と健全育成環境づくりに積極的に取り組んでいます。

2. 青少年施設の整備充実と交流の推進

「金峰山少年自然の家」、阿蘇大観峰の麓にある「青少年野外活動セン

ター」、出水2丁目の「総合体育館・青年会館」に加え、今春、新町1丁目に子どもたちが遊び、学び、集う機能を通して「自主性」、「創造性」、「豊かな感性」、「思いやりの心」を養うことのできる「子ども文化会館」が開館しています。

また、桂林市やサンアントニオ市、ハイデルベルク市の友好都市との青少年相互交流、交換留学、文化スポーツ交流、さらに中南九州各市への中学生訪問団の派遣など国際・国内交流にも力をいれています。

●21世紀を担う人づくり

社会教育

HUMAN CITY
KUMAMOTO



市制100周年記念人づくり基金制度

熊本市では、平成元年の市制施行100周年を記念して、市民各層から寄せられた多額の浄財とふるさと創生資金をもとに「熊本市制100周年記念人づくり基金」を創設しました。

この人づくり基金は、来るべき21世紀に向けて、熊本市が更に飛躍・発展するために、様々な分野において指導者として活躍する、国際感覚を備えた創造性豊かな人材を育成す

ることを目的とし、

- 1 環境の保全と創造
- 2 国際交流
- 3 社会福祉
- 4 伝承文化の継承
- 5 その他

の各分野に積極的に貢献する個人・団体を対象に、平成3年度から毎年2回（前期2月、後期8月）の募集を行い、研修・研究活動等への援助



伝統的な織物
肥後紬の復元
（伝承文化部門）

●21世紀を担う人づくり

創造的な人づくり

HUMAN CITY
KUMAMOTO

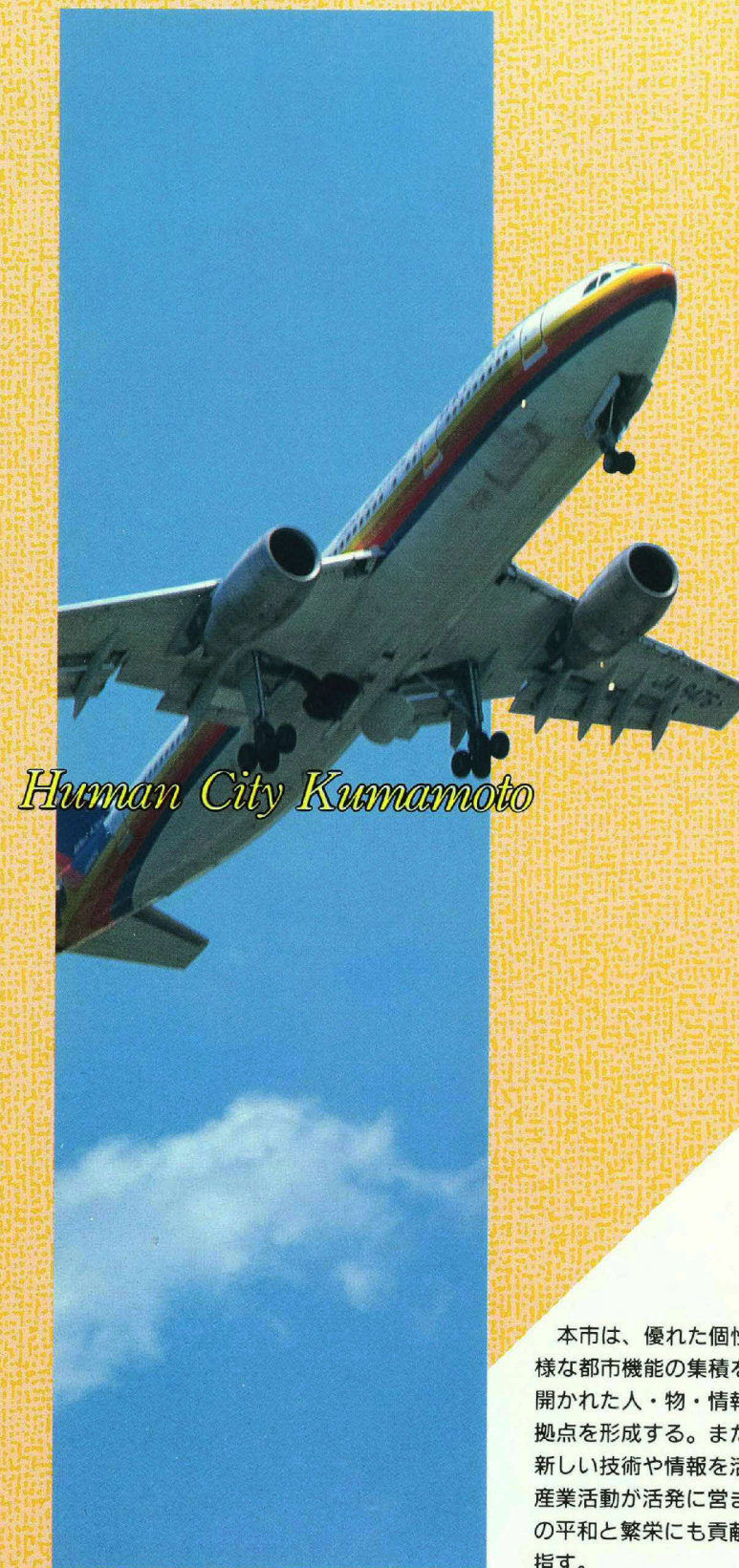


スイス・フリブル市において、リトグラフの研修

を実施しています。

平成6年度には前後期合わせて34件の申し込みがあり、人づくり基金選定委員会における審議の結果、13件の個人の方々が援助を受け、様々な研修活動を行いました。

これまで77件の熱意ある個人・団体の方々が援助を受けられ、それぞれの分野で研鑽を積み、ふるさと熊本のため、素晴らしい活躍をされています。



Human City Kumamoto

活力あふれる

交流拠点都市を目指して

本市は、優れた個性を生かし、多様な都市機能の集積を図り、世界に開かれた人・物・情報の活発な交流拠点を形成する。また、未来を開く新しい技術や情報を活用し、多様な産業活動が活発に営まれ、国際社会の平和と繁栄にも貢献する都市を目指す。